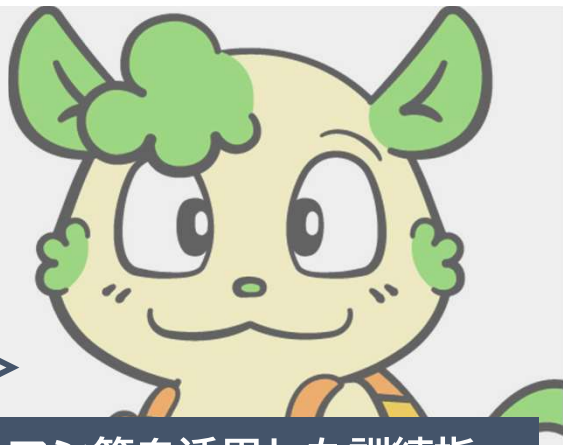
公募テーマの詳細
【共同研究開発型（無償）】



＜テーマ設計の背景等＞

Theme.2	対話可能なデジタルヒューマン等を活用した訓練指導の効果研究
テーマ設定の背景	東京消防庁では、都民の生命・身体・財産を守るため、２０５０東京戦略の政策目標として「２０３５年までに防災訓練等延べ参加人数１，４００万人以上」を掲げています。 訓練の質を確保しながら、この目標を達成するには、消防職員が不在でも、防火防災訓練等が効果的に実施できるよう、消防職員の対面指導と同等な訓練を可能とするデジタル技術等を活用していく必要があります。
現状の課題	訓練指導の質を確保するため、防火防災訓練指導は対面での指導に限っており、対応できる数に制限があります。
技術検証のイメージ	・一部の訓練や防災講話をオンライン環境等で２４時間、３６５日効果的に実施できる環境を研究 ・対面指導と同等な効果ができるか研究
採択する企業の目安	若干数
当庁から提供可能なリソース等	実際の防火防災訓練指導等での活用　等
想定する技術等の一例	人間の業務の一部を代替したり、能力を超えた対応ができるＡＩ搭載の「デジタルヒューマン」や「ロボット」

＜スケジュール（予定）＞

企画提案書受付期間	２０２６年６月１８日から６月３０日１２時００分まで （質問受付期間：６月１８日から６月２９日まで）
審査期間	２０２６年６月３０日から７月上旬頃まで
結果公表	２０２６年７月上旬頃
契約締結期間	２０２６年７月上旬頃
研究期間	最長１年間
報告書の提出	契約期間終了時まで